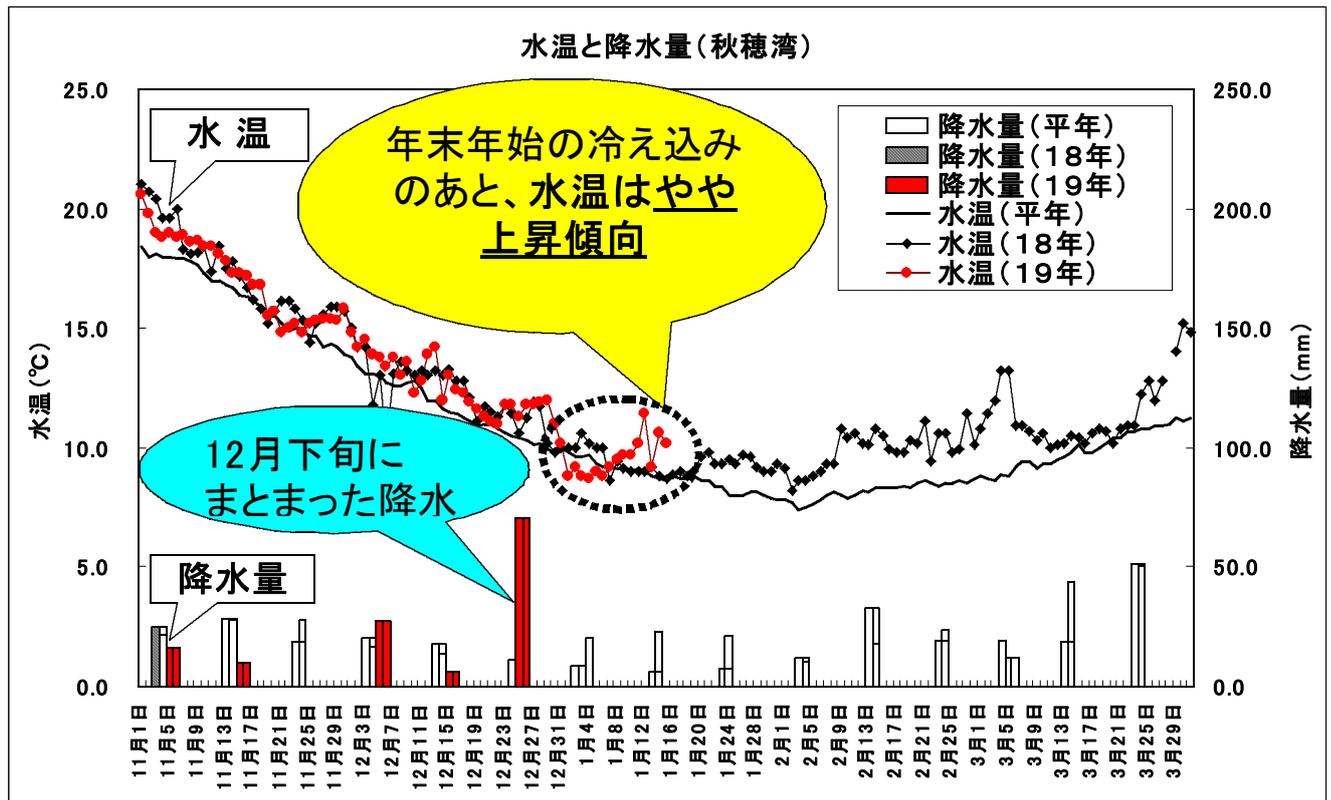


1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

1月上旬の水温は平年よりやや低めで推移していましたが、ここ一週間は上昇傾向にあり、1月16日の秋穂湾の水温は10.2℃と平年より1.6℃高めとなっています。各漁場の1月15日の水温は下関地区9.5~9.6℃、宇部地区10.5~10.8℃となっています。12月下旬にはまとまった降水がありました、1月に入ってから1月12日に29mmを記録しただけです。

向こう一週間は、曇りや雨の日が多く、気温は平年並みかやや高めの予報となっています。



(2) 栄養塩

地区	DIN	PO <sub>4</sub> -P
下関地区	平均115ガンマ(低104~高126ガンマ) 平年比130%、前年比146%	平均8ガンマ(低7~高9ガンマ) 平年比120%、前年比99%
宇部地区	平均39ガンマ(低11~高106ガンマ) 平年比54%、前年比125%	平均8ガンマ(低5~高19ガンマ) 平年比106%、前年比137%
防府地区	平均49ガンマ(低47~高51ガンマ) 平年比85%、前年比144%	平均16ガンマ(低16~高17ガンマ) 平年比211%、前年比233%

2 養殖状況

県下では3~6回目の摘採が行われています。年末年始の時化と冷え込みで各地区とも伸び足、色調とも良好ですが、ここ数日は水温がやや上昇しており、この影響で付着珪藻も再び増加傾向にあります。

下関地区：3~5回目の摘採中。伸び足良好。

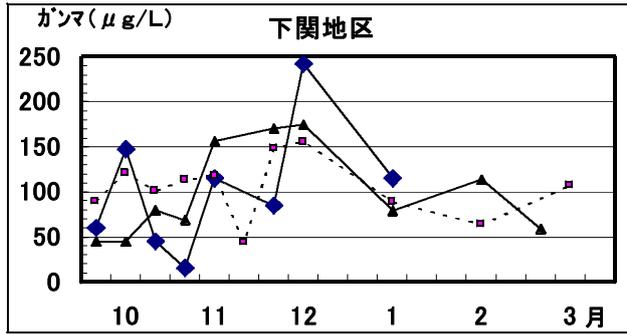
小野田地区：3~4回目の摘採中。伸び足が非常に良く、色調も良好。病害の発生なし。

高泊地区：3~4回目の摘採中。伸び足、色調ともに良好。病害の発生なし。

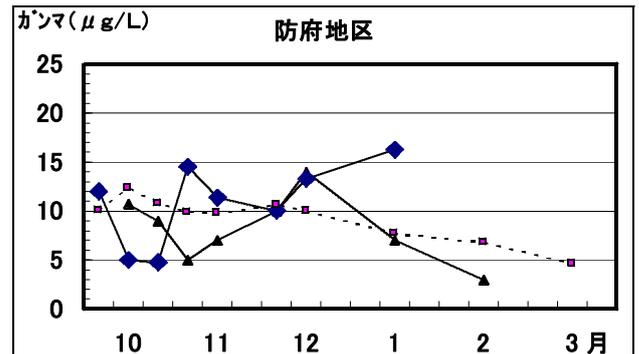
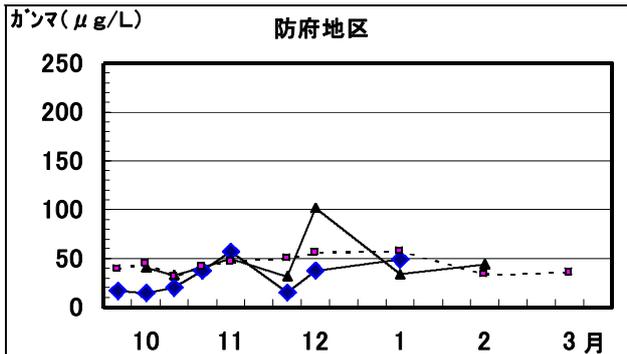
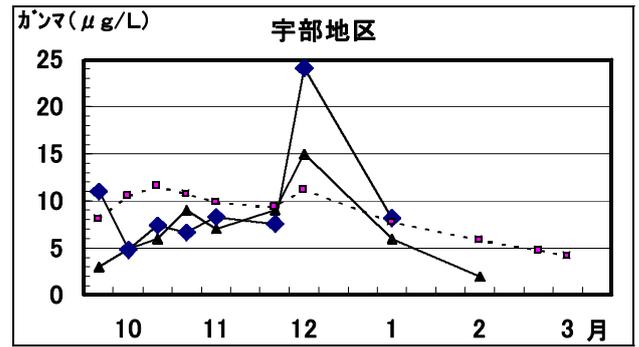
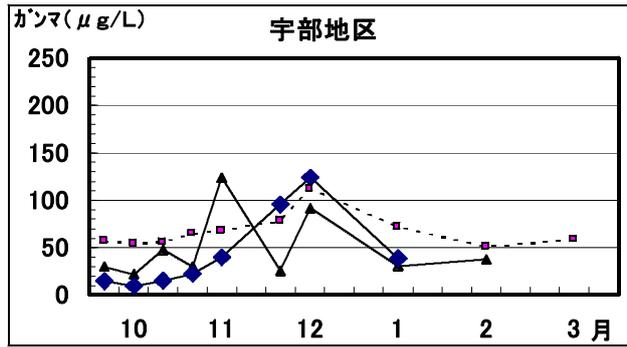
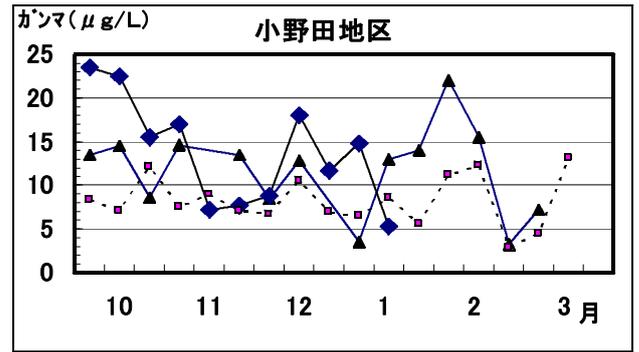
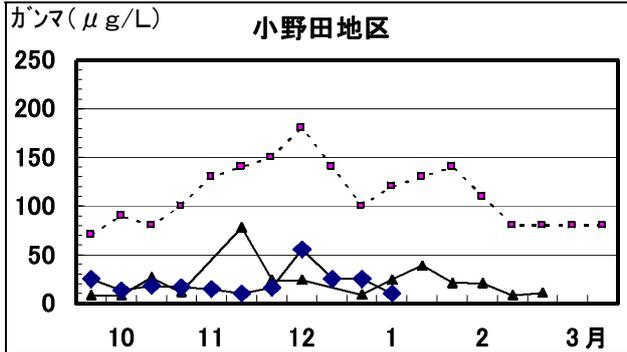
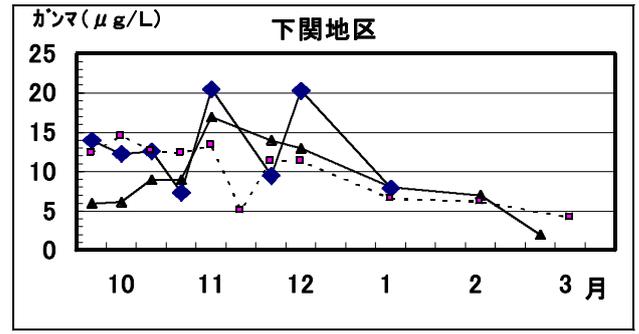
宇部地区：6回目の摘採中。順調に生産が行われているが、一部で色調の低下が見られる。また、珪藻の付着も増加傾向。一部海域で軽度の緑斑病の感染あり。

栄養塩調査結果(1月15日)

(DIN)



(PO<sub>4</sub>-P)



◆—19年度、▲—昨年度、■…10年平均 (※小野田地区分析:山陽小野田市環境調査センター)